

安全大会 2013 を開催 労災ゼロ継続を誓う

安谷組
安谷安全協力会

〔安谷安全大会2013〕を、三ノ宮集落セ



安谷組の安谷社長



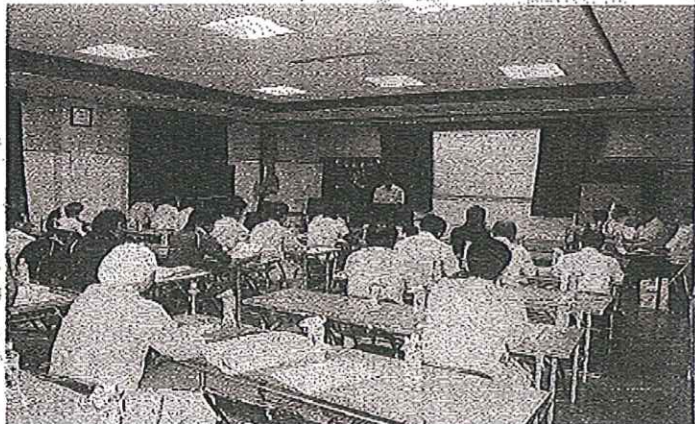
協力会の神田会長

ンター（京丹波町三ノ宮）で開催。労災ゼロの継続に向けて、着実な活動を推進することを誓い合った。

大会の開会にあたっては、神田会長と安谷社長が挨拶。神田会長は、通学児童らが犠牲となった亀岡市の交通事故について言及し、「皆様の命は、自分だけの命ではありません。たくさんの方が毎日元気に仕事から帰ってくるのを待っています」と語り、自己管理の重要性を示した。また、重機災害や熱中症

など多岐にわたる留意点を示しながら、「本年度も誰も傷つくことなく、無災害でがんばりましょう。安谷組を基盤とし、この厳しい現状を生き残ろう」と述べた。

安谷社長は、「昨年度1年間は、無事故無災害となり、大変に感謝している。暑い季節には、熱中症に注意する必要がありますが、水分・塩分の補給はもちろんで、不足や暴飲暴食を控えて、体調の管理を徹底してもらいたい」と要請した。



安全大会の様相（三ノ宮集落センター）

このほか、社員や協力会員の意識が向上していることに触れ、「こうした行事で、自分たちの取り組みを発表することを通して、意識が高まるのだと思う。それが常日頃の行

動に反映され、現場での常識になってきている」と語った。

その後は、安全活動アンケートの発表や、建災防京都府支部講師の吉牟田豊氏を招いた講演などが行われた。

アンケートの発表では、協力会の会員や、安谷組施工班の代表者らが、昨年1年間で感じたヒヤリハットの事例や、事故防止の取り組みなどを発表した。

ヒヤリハットについては、事例を紹介するとともに、発生原因や今後の対策について言及した。事故防止の取り組みについては、熱中症や交通事故、第三者への配慮など、労働発生の可能性を踏まえて、それぞれが取り組んだ対策方法を説明。労災ゼロに向けた目標も示した。

このほか、同社社員が所属する京丹波町吹奏楽団「なみすい」による演奏会やソフトボール大会が行われた。

平成25年7月27日（土）京丹波町三ノ宮集落センターにて安全大会を実施しました。会員10社、計42人が参加し午前中は協力業者2社、丹波綾部道路施工現場、安谷組施工班から安全活動報告やヒヤリハットの発表を行いました。今年は、建災防京都府支部の吉牟田講師による建設業の事故事例を交えた講演を行って頂きました。その後は毎年恒例となっております京丹波吹奏楽団～なみすい～さんによる音楽鑑賞とプロジェクトXより新羽田空港建設についてのビデオ鑑賞を行いました。

午後からは猛暑の中親睦ソフトボール大会が行われ会員同士の交流が深まったのではないのでしょうか。順位は以下のとおりでした。

- 優勝 神田・岬連合チーム
- 準優勝 安谷・芦田商事連合チーム
- 3位 円成・MI連合チーム
- 4位 富士・西村連合チーム



安全標語入賞作発表

アンケートで提出していただいた17作品の中から3作品が入賞しました。

- あれこれと 焦る気持ちが 事故を呼ぶ (有) 岬建設 岬 昇平氏作
- 出来るはず 出来たはずが ケガのもと あけぼの建設(株) 田畑 修一氏作
- もう一回 しっかり確認 身の回り (株) 安谷組 小林 良氏作

最後に本大会へ景品等ご協賛いただいた各社に厚く御礼申し上げます。

それではみなさん御安全に！